



■ 「マイロータリーを活かす」

第2ゾーンの公共イメージ・コーディネーター就任に当たって、この3月にエバンストンで3日間の研修を受けた。世界の各地から44名のロータリーコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、公共イメージコーディネーターが同時に参加した。朝の9時から夕方までのハードな研修であったが、一つ強く印象に残っていることがある。研修の流れはガバナーエレクトの国際協議会でお馴染みの全体会と分科会が交互に行われるものであった。

その分科会の各セッションで扱う様々な設問に対してファシリテーターは必ず導入部分で「この問題の解決にあたって、リソースに何がありますか？」と異口同音に語ったのである。以来、私が所属する第2610地区のRIのセッションでその質問を用いてみた。確かに問題解決にあたってリソースを意識することは基本的かつ大切なことと思われる。参加者の挙げるリソースの中に、ガバナー、パストガバナー、RI理事、元RI理事、クラブ会長、元クラブ会長、ガバナー補佐、地区委員長などの人的リソースがあったが、全ての参加者が挙げたのはマイロータリーであった。それ位世界のロータリーにおいてマイロータリーは情報ツールとして認知されている。

しかるに日本においては決して有効に活用されているとは言えない。残念ながら私が所属する第2610地区は10%（今年7月の登録率）を切っている。その中であって40%を超える地区が4地区存在する。高い順に挙げると第2530地区（48, 95%）、第2660地区（46, 94%）、第2750地区（43, 48%）、第2820地区（40, 24%）である。因みに、バリー・ラシン会長は登録率60%を目標として掲げられている。

今、ロータリーは以下の3つの質問に答えることが求められている。「ロータリーとは何か」、「ロータリーは他の団体とどこが違うのか」、「ロータリーはなぜ必要なのか」である。

どれもロータリーの存在理由を明らかにする根源的な問いかけである。一見難しく思える問いであるが、マイロータリーを覗いていると一応答えらしきものが浮かんでくるから不思議である。会員登録率アップに向けてガバナー始め地区指導者の一層のご理解と推進をお願いする次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春（野々市RC）

■ 「BE THE INSPIRATION」

本年度、バリー・ラシンRI会長は会長テーマとしてBE THE INSPIRATION（インスピレーションになろう）を掲げられました。

世界大会の帰路、成田空港で見たのは下の写真です。「インスピレーションになろう」は日本語として理解しにくいですが、既に、いろんなところで使われていることが解かりました。

あわせて、次のとおり新ビジョン声明が発表されました。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

ロータリーは組織でありますから、企業体と同様に理念、目的、目標があります。ロータリーの目標は戦略計画であります。

- 1 戦略計画には、根幹をなす、**ミッション・ビジョン・バリュー**があります。
- 2 **新ビジョン**は戦略計画において、ロータリーが未来に実現しようとする、なりたい、ありたい姿です。
- 3 **ミッション(任務)**は、私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために

- 4 **バリュー(共通価値観)** 人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

以上のように分けて考えたほうが理解し易いと思いますがどうでしょうか

持続可能な良い変化については、イアン H . S. ライズリー前RI会長の言葉が参考になります。

持続可能な奉仕とは、ロータリーの直接的な参加が終了した後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。ポリオを撲滅することは、持続可能な奉仕の中で究極のものです。

新ビジョンを理解し戦略計画を持っていることは、変化に対応し、未来の計画を立てる上で大変重要です。クラブ、地区がロータリーの戦略計画に沿った目標を立てそれを推進していくことが会員の積極性、満足度を高める事になります。



第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 劔田廣喜
(高山中央RC)

(写真の説明)

Inspiration of JAPANの意味は、日本的なおもてなしの心とか、礼儀正しいサービスとか、先進の技術とか、そういう日本の良さを強調したいようです。

特に海外では「ANA」だけだと、どこの国の会社か分からない人もいますので、日本を強調したいようです。